

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

【放課後等デイサービス事業所「たいよう」】

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・課題スペース、運動スペース、読書、飲食スペース等十分な広さが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・適切に配置されている。・個別対応が必要な時に難しく感じる場合がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・室内はバリアフリーになっており、車イスが通れるスペースを確保している。・トイレの戸はスライド式で手すりもある。・床に段差がない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・基本的に毎日のミーティングを行い、計画の相談に加わっている。・個別支援計画書を作成する際には必ず行っている。行事ごとに反省をし、毎回会議を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・定期的の実施している。・意見などを聞き、改善につなげている。・毎年行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価があるとより良いと思います。・外部ではないがホールディングス内では行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的の実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・定期的の実施している。・各事業所で毎月必ずしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・毎日行っている。・毎日のミーティングで話している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・毎日行っている。・子ども達のリアクションを見ながらプログラム変更を職員全体で決めている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・状況に応じて都度実施している。・ミーティング時に話し合ってから決めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・状況に応じて都度実施している。・子ども達に合わせて、個別活動と集団活動を計画書に取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・毎日確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・毎日、及びその都度共有している。・休みの職員がいる場合には必ず報告をするようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日、及びその都度共有している。記録をしっかり取り、それを元に改善に努めている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・定期的に実施している。・月に1回児童のケース会議を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・毎日のミーティングにて計画を見直している。・療育課題やレク活動などに組み合わせさせて支援をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・全職員が計画の相談に加わっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・都度、学校と情報共有している。・電話等で確認も取っている。・定期的に学校訪問をして情報共有をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・実施している。・きらりや相談事業所から情報共有をしてもらっている。・保育所や幼稚園とは情報共有できていないが、児童発達支援事業所とは相談を通して行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		・連携はしているが研修は未実施。・きらりとの連携を取っている。・相談事業所を通して連携している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・他事業所との交流はあるが、障がいのない他児との交流はない。・地域のサッカー少年団との交流をしている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・できていないと思われる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時及びその都度状況報告している。・送迎時や連絡帳にて実施している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・都度支援を行っている。・職員で話し合い、対応を考えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・都度行っている。・職員で話し合いを行い、対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・現在行えていない状況。・今後は予定をしっかりと立てて行うようにしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・都度対応している。・情報共有して行っている。・大きい苦情はないが、何かあれば報告をしてすぐに対応し、職員にも周知している。

	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・インスタグラム等にて定期的に発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・十分に配慮している。・個人情報の研修もしているので、職員全体で意識付けをしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・十分に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在行えていない状況。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各マニュアルにて周知されている。各マニュアルは職員や保護者がいつでも閲覧できる場所に置いてある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・定期的を実施している。・年2回行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・定期的を実施している。・委員会も設置し、研修も定期的に行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・定期的に研修や話し合いを実施し、必要な場合のみ計画に記載している。・閲覧用の書類に記載し、いつでも見れるようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者への聞き取りをして十分配慮している。・情報共有し、職員間で周知している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・都度、作成及び共有している。・会議等で周知している。

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価表

【放課後等デイサービス事業所「キラ」】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・狭い目が届きやすくなった。集団で出来る事や体育館を借りるなどの活動を取り入れている。・児童人数が多い時は、やや手狭に感じる事もある。・改装工事をして開放感が出た。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・基準を下回ることはないが、声掛けや打合せ等で業務を潤滑に回せるようにしている。・職員の休みが被ると足りなく感じる時はある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・室内はバリアフリーだが、玄関に段差あり。・一般住宅の為完全なバリアフリーではない。・イラストや張り紙で子ども達にわかりやすく呼びかけしている。・構造的に死角が存在する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・各児童に対し、普段よりスタッフ間で情報を共有している。・理解して職員皆で取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートの実施や送迎時、またLINEを導入して声を聞くとともに改善に繋げていきたい。・アンケート調査を行い、職員で振り返りを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに公開されている。また職員にも結果配布され、周知をしている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価は行っていない。・把握できていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に研修を行っている。職員が実施するので能動的である。・毎回担当者を変える工夫をしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・各職員間で常に情報共有を行い、アセスメントにつなげている。更に考え合いながら計画書やサービス提供している。・普段の生活や言動を踏まえて分析を行い、色々な意見を集めるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・新しい取り組みも入れながらそれぞれの児童に対し必要な事を導入している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・スタッフ間で話し合いながら立案している。・毎月レクリエーションの週間を設けている。・出来るだけ色々な意見、案を取り入れられるように協力している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・新たにグループワーク等、今までになかったことにも取り組んだ。・会議等で打合せしている。・職場体験など様々な活動プログラムを企画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・時間が必要となる活動を休みの時に行うなどメリハリをつけている。・飽きやマンネリ化がしない様に個別に合ったものを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・まだ集団活動がとれにくい児童にも無理のない範囲で参加出来る様に工夫をしている。・個人差を考えて1人1人に合わせてバランスを変えて計画するようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・話し合いの他、ホワイトボードに記入し可視化している。・児童の情報を共有し、それに合わせた対応が出来る様にしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・その日に合ったことを話し合いや報告をしている。・時間がない時は次の日共有している。・可能な限りその日にあった事はその日の内に情報共有できるようにしている。無理な場合は次の日の支援開始前に行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・支援記録の記載とともに職員間でも話し合いを行っている。・支援経過記録や連絡帳に書き記すようにしている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・相談員も身近におり、定期的に近況を話し合う機会も多い。 ・過去と今の情報を見比べながら行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・1日の流れの他、周期的や単発でイベントを組み合わせている。 ・いくつか組み合わせ、その中でも児童への自立支援になるように工夫を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・有資格者が参画している。・保育士や児発管など資格を有する担当者が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・ラインにての連絡の他、送迎時に対面で情報交換をしている。 ・学校送迎時や学校見学、先生が事業所に見学に来てくれた際に児童の情報をこまめに交換するようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・主に相談員を介してのやり取りが多い。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		情報交換、共有が主である。・外部との連携はまだそこまで盛んではないと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・他事業所と合同でサッカー教室を行う機会があり、今後も続けていきたい。 ・前年と比べ、今年度は他事業所との交流も少しずつ増えた。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	・社員としては参加していない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時の他にLINEでやり取りをする事もある。送迎時を中心に日々子どもの状況など情報共有を行い、情報にズレがないように心がけている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者からのニーズに答える形が多い。 ・送迎時に子どもの話だけではなく、親御さんの話も合わせて聞くようにしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時の説明を行い、変更時等も書面等での説明を行っている。 ・契約時に主な話をしているが、問い合わせなどがある場合にはその都度説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時等、保護者と話し合う事が多い。内容等スタッフ間で共有している。 ・相談を受けた際にはすぐ他のスタッフと情報共有を行い、話し合い親と子、両方の対応を素早く行うようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・保護者も参加した行事を開催して交流をしている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・すぐ職員間にて情報を共有するとともに、対応を行っている。 ・何かお話があった時はすぐに他の職員との情報共有を行い、上司の指示をあおぐようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・インスタグラムで毎週発信している。LINEの活用をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・書類やファイル等は目が届きにくい所に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・表現の仕方を分かりやすくしたり、連絡帳も具体的な記載をしている。・できるだけ分かりやすい言葉選び、表情や声色に気を使っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・コロナも収まりつつあるので、今後企画していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・マニュアルがすぐ見つかる所に設置している。・それぞれのマニュアルがあり、いつでも確認することができるようになっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回の開催を実施　・消防の方を招いて、消火器などの使い方を教わっている。・訓練は様々なパターンを想定して行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会を設置し、研修も職員で行っている。最新の情報の共有も行なっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・必要時の流れの確認など、研修済。実施は対象児童がいないので行われていない。・研修なども合わせて行われており、職員1人1人が内容を把握できるようになっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・契約時にアレルギーの有無を確認。情報を共有し常に意識している。・どの児童がどのアレルギーを持っているか、対処はどうか一覧表にしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・発生時に必ず書類の記載して回覧や報告にて周知を行っている。過去のものもファイリングして見やすい状態で管理している。